

国語科学習指導案

日 時 令和元年 11月13日 (水)
児 童 3年生
授業場
授業者

1. 単元名「中心場面を明らかにして書こう」～強く心にのこっていることを～

2. 単元の目標

3年生前期までの学校生活をお話（以下：マイストーリー）にまとめる活動を通して、相手や目的を意識して、経験したことから書く内容を選び、集めた材料を比較したり分類したりして、伝えたいことを明確にしながら表現できる。
(中心となる指導事項ア 関わる言語活動例ウ)

3. 単元観・児童観・指導観

児童はこれまで「B 書くこと」領域において、行事や体験活動などを通して感じたことについて「相手や目的」「伝えたいこと」を意識しながら、情報を集め、考えを表現する活動を行ってきた。その中で、児童は「相手や目的」を考えながら情報を集めていこうとする意識は感じられる反面、内容をどのよう整理するか、伝えたいことは何なのかを考えて書くことにおいてはまだ課題がある。そこで、本単元では、指導事項ア「相手や目的を意識して、経験したことや想像したことなどから書くことを選び、集めた材料を比較したり分類したりして、伝えたいことを明確にすること」に重点を置くこととした。本単元で扱う中心教材「強く心にのこっていることを」(教育出版3年生上巻)では、伝えたいことを絞って書くための過程の一例が挙げられており、学校の行事等の特色や児童の実態に応じて教材を開発していくことができるようになっている。

以上のことから、国語科で育みたい資質・能力を本単元において具現化していくために、以下の手立てを講じていくこととする。

学びの必要性を生み出す課題設定 I

○課題共有前後で、児童の「えっ!?何だろう?」「困った…」「知りたい!」「考えたい!」「話し合いたい!」などの思いを表出し、主体的に学びに向かうきっかけをつくる。

(例) 複数の文章との比較から、単元導入で書いたマイストーリーの不完全さへの気付きを促す

資料提示からマイストーリーを書くための視点の不明確さへの気付きを促す

自他の表現を再検討する場を促す教師のかかわり II

○全体交流の場で「立場」「根拠」「共通点・相違点」等を問いながら「ずれ」を表出し、「〇〇さんの意見を聞いて自分も…」「〇〇さんの考えもわかるけど、やっぱり自分は…」など、自分の考えを捉え直ししながら、目標に迫っていくことができるようにする。

(例) 「異なる立場でも根拠が同じこと」や「同じ立場でも根拠が異なること」などを問い返し、複数の情報を比較しながら伝えたい場面についての考えを明確にできるようにする。

マイストーリーについて

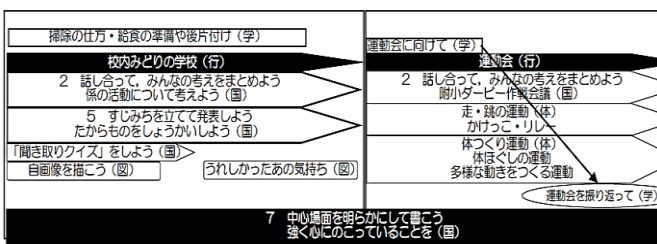
○「会話文」や「気持ち」を書きながら、その場面における出来事の詳細を伝えるように工夫した文章

○学年末に書く3年生の文集(相手:学年の仲間・保護者)の前段階として、前期までに最も心に残っている出来事を整理した文章

4. 学年・学級経営年間プログラムとのかかわり

仲間と創り上げよう! ~あなたと仲間のよさは何?~

~あなたと仲間はどんな人?~



本単元は「仲間と創り上げよう」のパッケージに位置付けられている。このパッケージでは、校内みどりの学校(集団宿泊の行事)や運動会などの行事の概要を知り、目的意識をもったり目標を立てたりしていくことを入り口としている。行事が進み、完結する過程で、「自他のよさ」や「仲間と共に創り上げていくことのよさ」に目を向けていくことにな

るが、それは体感的なものであり、全員に実感を伴う理解が促されていくわけではない。そこで、国語科の本単元との関連を図り、仲間とのコミュニケーションを図りながら表現・推敲する過程で前述のような「よさ」を再認識することができるようにしていく。

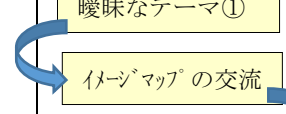
5. 単元を通して育む「コミュニケーション力」

本学級の児童の実態を考えると、単元のゴールのイメージを共有したり、本時の課題を提示したりするだけでは本研究で目指すコミュニケーション力の育成にはつながっていかない。そこで、前述の手立てを講じることで、自分たちが単元導入で書いたマイストーリーを基に「相手に伝わらないところがありそうよね?」「別の書き方を考える必要があるよ」「“中”の部分を書き加えていかないと」などと相互に関わり合いながら、表現の妥当性を高めていく姿を引き出せるようにしていく。本単元では、このような姿をコミュニケーション力を育てていく姿と捉え、必要に応じて、子供同士の関わり合いの価値をフィードバックすることで、単元を通して自律的にコミュニケーションを図っていくことができるようにする。

6. 評価規準

知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
ア 目的を意識しながら発信する際に必要な語句を書き留めることができている。	ア 既得の情報を整理し、中心に述べたい内容を明確にしながらかいている イ 集めた材料の共通点や相違点に着目し、比較したり分類したりしながら書いている	ア 自分で書いた文章の課題を発見しながら、それらを解決していく見通しをもとうとしている。 イ 他者と関わり合いながら自己の表現の変容等に気付き、学びを振り返ろうとしている。

7. 単元計画

時数	○主な学習活動	評価の観点			学び合いの過程 手立て
		知	思	主	
1	○学年末に書く3年生の文集に向けてのプロジェクトが始まることを知る。 ・試し書き【マイストーリー (Before)】をした後、学習計画を立てる			ア	<div style="border: 1px solid black; padding: 5px; display: inline-block;">曖昧なテーマ①</div>  <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; display: inline-block;">イメージマップの交流</div> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; display: inline-block;">イメージがある程度明確になったテーマ②の表出</div> <div style="border: 1px dashed black; padding: 5px; margin-top: 10px;"> 手立てⅡ 必要に応じて自他の考えを再検討する場を設定することで、テーマに対する思いをもつことができるようにする。 </div>
2	○イメージマップを使って、マイストーリーで書く内容のイメージを広げながら、テーマや一番伝えたい場面を決める。	ア		イ	
3 (本時)	○前時のイメージマップ(記入済)を使って、伝えたい事柄や場面を整理しながら表現する		ア	イ	<div style="border: 1px dashed black; padding: 5px;"> 手立てⅠ 複数の文章や表現を提示することで、自己の表現を見直す必要性を生み出すことができるようにする。 (例) 複数の… ・イメージマップ ・組み立てメモ </div> <div style="border: 1px dashed black; padding: 5px; margin-top: 10px;"> 手立てⅡ 全体交流終盤で自他の考えを再検討する場を設定することで、テーマやそれに関わる表現を捉え直して書くことができるようにする。 </div>
4	○書く材料を比較・分類しながら、組み立てメモを書く			イ	
5	○お互いの表現を確かめ合いながら、下書きを完成させる			イ	
6・7	○マイストーリー (After) を完成させる	ア		イ	

8. 本時案

(1) 本時の目標

- ・体験した事柄（情報）の視点を整理し、中心に述べたい内容を明確にしながらかくことができる（思）
- ・自他の考えを整理し、自己の表現（イメージマップ・マイストーリー）を捉え直そうとしている（主）

(2) 本時の展開（3／7）

学習活動 児童・生徒の姿 ○教師の働きかけ・発問（△補助発問，□指示・説明） 手立て	【評価の観点】 ◇評価の内容 ・指導上の留意点
1 単元導入時における考えを想起し、本時の見通しをもつ。 ○複数のイメージマップ（児童が前時までに書いた実物参考）を提示し、自分のものとの比較を促す。 手立て I <div style="border: 1px dashed black; padding: 5px; margin-top: 10px;"> Aさんのイメージマップに近いよ。もう少し詳しく書きたいけど、どうすればよいかわからないんだよね。 </div> <div style="border: 1px dashed black; padding: 5px; margin-top: 10px;"> Bさんのイメージマップかな。Bさんと同じように、テーマとその場面が合っているか心配だよ。 </div>	「A：詳しく書くための視点の欠如」 「B：テーマと具体の妥当性が低い」
一番伝えたい場面の書き方について話し合い、自分の文章に生かそう	
2 個人思考・少人数交流：複数のブース(個人・ペア・グループ)に分かれて、自他のイメージマップについて検討する。	
<div style="border: 1px dashed black; padding: 5px; display: inline-block; width: 30%;"> どうして運動会で悔しい気持ちになったの？ </div> <div style="border: 1px dashed black; padding: 5px; display: inline-block; width: 30%; margin-left: 20px;"> 探検の場所は色々あったよね？どの場面？ </div> <div style="border: 1px dashed black; padding: 5px; display: inline-block; width: 30%; margin-left: 20px;"> テーマが「成長」だから、この場面はもっと… </div>	・必要に応じて複数のイメージマップを追加提示し、どれがよいのかを検討できるようにする。
3 全体交流：複数のブースで出た考えについて話し合う。 ○（板書が整理されたタイミングで）イメージマップの「ずれ」などを問う 手立て II 〈同じような考えが交流されていた場合〉 違いは何かあったの？ 〈異なる考えが交流されていた場合〉 共通点は全くないんだね？ 〈その他必要に応じて〉 なぜ詳しく書く？本当にテーマに合っている？ etc	・変更していく具体的な言葉に着目できていない児童には、板書（キーポイントのチョークの色）を参考に整理することを促す。
<div style="border: 1px dashed black; padding: 5px;"> <ul style="list-style-type: none"> ・「いつ」「誰が（と）」はたくさんの方が書いていたよ。 ・「なぜ」、そのような「気持ち」になったかは誰も書いていなかったよ。その場を見ていない人にとっても伝わりやすいよね。 ・「努力・成長・感謝」などのテーマに合った場面を選んで書いている文章は思いがよく伝わってきたよ。 </div>	
○（共通点・相違点が明確化されたタイミングで）自分や仲間のイメージマップ（Before）に変更していくところはないか問い、考えを再検討する場を設定する。 <div style="border: 1px dashed black; padding: 5px; margin-top: 10px;"> <ul style="list-style-type: none"> ・「いつ？どこで？誰が？」やそのときの「気持ち」や「理由」を書くと様子が詳しく伝わるのがわかったよ。自分の文章（Before）に付け足していこう。 ・「協力」というテーマだけど、自分の今のイメージマップの内容だと伝わりにくいことがはっきりしたよ！文章を書き直すところがあるな。 </div>	【思～発言・ワークシート】 ◇自分が体験した事柄と本時の内容を結び付け、表現を捉え直している。
マイストーリーのカギ I テーマとのつながりを考えて、場面の「様子」や「気持ち（理由）」などを詳しく書く	
4 本時を振り返りながら、イメージマップやマイストーリーの「Before」を再構成する。 <div style="border: 1px dashed black; padding: 5px; margin-top: 10px;"> <ul style="list-style-type: none"> ・運動会の思い出に「どんな気持ちだった？」「なぜ？」を付け加えよう。 ・「成長」がより伝わるように「行事の前と後の気持ち（理由）」を書こう。 </div>	【主～発言・ワークシート】 ◇視点をもちながら、イメージマップ・マイストーリーの加除修正に取り組もうとしている。

